

MRI造影検査説明書 (患者様用)

I D

氏名 _____ 様

造影剤とは

画像診断をするにあたって、診断のための情報量を増やすために用いられる検査薬です。通常は静脈内注射で投与します。腎機能が正常であれば、注射後2時間で60%、24時間後には90%以上が尿に出てしまいます。やがて体の中から全て排泄されます。

造影検査の利点は

注射後に全身の臓器に流れていき、血管の状態、各臓器の状態、病変部分における造影剤の集まりかたなどにより、病名などの診断や、疾病に対する治療状況などがよく分かることです。

造影剤の副作用は

医学の進歩で副作用の少ないものが開発されていますが、全く危険性を無くすことはできていません。軽微な副作用を含めると、約1%（100人に1人の割合）で何らかの副作用が生じると言われています。

具体的な副作用とは

検査中あるいは直後に起きる即時性のものと検査終了後数時間から数日の後におこる遅発性のものがあります。

・即時性副作用

気分不快、嘔気、嘔吐、じんましん、全身がかゆくなるといった症状が多いようです。まれに、冷や汗や胸が苦しくなる場合もあります。また、ごく稀に（1万人に1人の割合）ショックなどの重篤な副作用が出る事が分かっており、極めてまれに死に至る報告（100万人に1人）もあります。

・遅発性副作用

まれに体がだるくなったり、頭痛、じんましんなどが出る場合があります。

どんな人に副作用は出やすいのですか

アレルギー体質（花粉症、じんましん、喘息など）の方は副作用が出る可能性が約3~4倍高いといわれています。また、MRIの造影剤を使うと腎機能を悪化させることがあります。次に該当する方は担当医、看護師、検査技師に申し出てください。

1. 以前、造影検査で具合が悪くなったことがある。
2. 喘息やアレルギーがある。
3. 腎臓病がある。

副作用が出たらどうするのですか

検査中に重篤な副作用が出現した場合には救急体制で医師、看護師が治療にあたります。検査後に症状があらわれた場合には、すぐに受診された診療科に、休日や時間外の場合には救急外来までご連絡下さい。

以上の説明により、造影検査に同意していただけたらご署名ください。

注) 造影検査を希望されない場合には申し出てください。

MRI造影剤同意書

(病院保存用)

ID _____

氏名 _____

様

説明医師 _____

- 造影剤について
- 造影検査の利点
- 造影剤の副作用
- 具体的な副作用
- 副作用出現の個体特異性
- 副作用発現時の対処法

測定日： 20 年 月 日

eGFR _____

もしくは

クレアチニン _____

検査データ確認サイン _____

私は、今回の検査における造影剤使用に関して上記についての説明を十分に理解し、了承しましたので造影検査を受けることに同意します。

公立丹南病院長 殿

(西暦) 年 月 日

患者氏名(自筆) _____

保護者または代理人 _____

(続柄)

注) 保護者または代理人署名欄は、本人が署名できない場合や未成年の場合などに記入してください